

いろんなスポーツが体験できる♪



長岡市スポーツ推進条例施行記念「ジュニアスポーツフェスタ」

誰もがスポーツに親しめる「スポーツによるまちづくり」を進める条例を同日施行します。
 時間＝午前9時15分～午後3時 内容＝記念セレモニー、スポーツ体験（バスケットボール、テニスなど）、スタンプラリー、飲食ブース 長岡市スポーツ協会 ☎34・2130

アルビBB ホーム いよいよ長岡開幕！

試合日	試合開始	対戦相手
10/17(水)	19:05	三遠ネオフェニックス
11/7(水)		シーホース三河

チケット販売＝新潟アルビレックスBBホームページ<https://www.albirex.com/>、チケットぴあ、ローソン、セブン-イレブン、ファミリーマートで 長岡アオーレ交流課 ☎39・2288

新シーズンへ弾み！北信越地区で準優勝

6チームで争うBリーグ「アーリーカップ北信越」（9月7日～9日）で、アルビBBが準優勝。新加入の渡辺竜之佑選手（写真）なども活躍し、開幕に向け大きな弾みになりました。



テニス・全米オープン優勝 大坂なおみ選手の活躍を支えた ヨネックス・長岡産のラケット

女子テニスの大坂なおみ選手が先日の全米オープンで優勝し、4大大会シングルスで日本人初の快挙を成し遂げました。その大坂選手が使っていたラケット、実は市内に生産拠点を置くヨネックス(株)の製品「EZONE98」を基にしています(グリップにレザーテープを巻くなど、市販品とは若干異なる)。同製品は、塚野山(越路)の新潟生産本部でフレーム部を成形・加工・塗装し、高頭町の長岡第2工場ではグリップ部の成形と、バランスの調整、仕上げを行っています。大坂選手は「強いボールが打てて、スピンも、コート奥に打ち込むフラット(回転の少ないボール)も自由に打ち分けられる」と高く評価。ヨネックスは「長岡をはじめとする日本製のラケットでサポートできて光栄です」とコメントしました。

きっかけは母親の手紙

ヨネックスが大坂選手のサポートを始めたのは平成20年から。大坂選手(当時10歳)の母親が社長である米山勉さん(現会長)に「サポートをお願いしたい」との手紙を送ったことがきっかけです。米山社長はアメリカ支社に「しっかり支えましょう」と指示し、今日に至ります。

長岡に根差す世界的企業 昭和21年に越路地域で創業したヨネックス。スポーツ用品の製造・販売を中心に、アメリカやヨーロッパなどにも拠点をもちます。平成28年には市の産業団地「西部丘陵東地区」に進出第1号となる長岡第2工場を整備しました。長岡技術科学大学とはラケットの共同開発などを行い、平成28年に包括連携協定を結んでいます。

日本中に勇気と感動を与えた今回の偉業。大坂選手のたゆまぬ努力はもちろんですが、その陰には長岡の企業の精神と技術力がありました。



写真提供：ヨネックス



▲西部丘陵東地区(高頭町)に平成28年6月に操業した長岡第2工場

「オール栃尾」の活性化拠点へ

とちお「コミュニティセンターオープン」 栃尾地域のコミュニティ活動の新たな拠点「とちおコミュニティセンター(コミセン)」のオープニングセレモニーを9月1日に開催しました。建物は栃尾文化センターの一部を活用。住民で組織する「とちおコミュニティ協議会」が運営します。栃尾地域ではオープンに向け、住民主体で地域活性化の在り方を検討。

コミセンが各地区や地域活動団体のつなぎ役となり、それぞれの魅力を引き立てる事業を行います。また、塩谷や荷頃など中山間部の8地区にコミセン職員が出向き、各地区の課題解決にも取り組みます。新たな活動拠点を核に「オール栃尾」で活発なコミュニティを実現します。



住民など約120人が参加したオープニングセレモニー(9月1日) とちおコミュ | 開館時間＝平日午前9時～午後4時 ニティセンター | 問い合わせ＝☎89・7305

若者が活躍できる地域にとちおコミュニティ協議会 会長 西川 明浩さん

若い人が活躍できる地域になるよう、誰でも自由に栃尾の未来を語れる場にしていきます。各地区や団体の連携を深めることで、「オール栃尾」のコミュニティづくりを進めます。

水泳も全国、世界から

長岡ゆかりの選手も活躍！ 日本社会人選手権を初開催(9/1・2)



水泳の日本社会人選手権が市内で初開催され、全国から約230人の選手が集まりました。直前に行われたアジア大会の金メダリスト・鈴木聡美選手や五十嵐千尋選手も出場。長岡ゆかりの大坂将史選手が200mバタフライで優勝、林和希選手も100m・200m平泳ぎで2位と大活躍しました。

2020東京に向け 豪・パラ競泳チームが合宿(9/18~20)



リオパラリンピックの金メダリスト4人を含むオーストラリアパラ競泳チームが、横浜市での国際大会に向け、市内で練習調整を行いました。2年後の東京パラリンピックでの事前キャンプの視察も兼ねています。19日には市内の障害のある水泳選手が訪れ、トップレベルの水泳に見入っていました。